

れんこん

—— 発病・加害時期
 === 発病・加害最盛期

作型・病害虫名	月													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
普通	■				▲ 種はす 植付け								■	■
褐斑病 腐敗病 アブラムシ類 イネネクイハムシ スクミリンゴガイ(ジャンボタニシ)								—————						

褐斑病

留意事項

- 1 高温多湿条件下で発生しやすい。

防除方法

- 1 ほ場や、ほ場周縁の被害部は集めて、ほ場外へ持ち出し処分する。
- 2 根腐れや肥効切れなどによって草勢を衰えさせない。
- 3 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [トップジンM粉剤DL](#) < 1 > 【3~4kg/10a 前日/3回】
 - ・ [トップジンM水和剤](#) < 1 > 【1500倍 前日/3回】

腐敗病

留意事項

- 1 菌は種茎及び土壌伝染する。

防除方法

- 1 砂質土のほ場は、発病しやすいので作付けを避ける。
- 2 掘取時以外、冬期もなるべく長期にわたって、たん水する。
- 3 種はすは、無病田から採取した健全なものを用いる。
- 4 栽培中は水を切らさず、水温・地温をあまり上げない。
- 5 肥料のやりすぎなどで根を傷めない。
- 6 発病ほ場における掘取後の田に残る屑れんこんは、丁寧に集め、ほ場外に持ち出し処分する。

アブラムシ類

防除方法

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。
 注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

1 植付時に、下記の薬剤を施用する。

- ・ [アドマイヤー1粒剤](#) <4 A>

【クワイクビレアブラムシ 3kg/10a 植溝土壌混和 植付時/1回】

2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

- ・ [ダントツ水溶剤](#) <4 A> 【クワイクビレアブラムシ 2000~4000倍 7日/3回】

- ・ [オルトラン粒剤](#) <1 B> 【4kg/10a 14日/2回】

- ・ [アクタラ粒剤5](#) <4 A>

【クワイクビレアブラムシ 6kg/10a たん水散布 14日/3回】

- ・ [ウララ粒剤](#) <2 9>

【クワイクビレアブラムシ 3kg/10a たん水散布 生育期(収穫14日前)/2回】

イネネクイハムシ

防除方法

1 植付時に、下記の薬剤を施用する。

- ・ [アドマイヤー1粒剤](#) <4 A> 【3kg/10a 植溝土壌混和 植付時/1回】

2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

- ・ [トレボン粒剤](#) <3 A> 【3kg/10a 14日/3回】

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）

防除方法

1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。

- ・ [スクミノン](#) <-> 【4kg/10a 45日/2回】

- ・ [スクミンベイト3](#) <-> 【4kg/10a 発生時/-】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。